

安心して暮らせる社会をつくるために

熊本県議会議員

幸村かよこ

議会通信 No.4

令和6年1月発行



ご挨拶

謹賀新年

本年もどうぞ宜しくお願い致します

年明けから、能登半島地震、航空機事故、北九州市の大規模火災、山手線殺傷事件が立て続けに起きました。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本当に心の痛む新年の幕開けとなりました。

お正月の団欒、家族や友人とのかけがえの無い時間が一瞬にして悪夢のような日々へと変わってしまいました。

熊本地震や豪雨災害を経験した私たちだから分かることがあります。国や熊本県もこれまでの災害対応の蓄積を能登半島地震に活かして欲しいと思います。そして、私たちも被災地に寄り添いながら、できることをやっていきましょう。

今年は、県知事選挙の年となります。三月七日告示、二十四日投票です。蒲島県知事は不出馬を表明されており、十六年ぶりに熊本の新しいリーダーを選ぶ選挙となります。県南振興、川辺川ダム、TSMC、空港アクセス、水俣病などなど課題は山積しています。候補者の政策をしっかりと吟味し、棄権することなく投票しましょう。

昨年からの政治資金パーティーを巡る事件で、現職国会議員が逮捕されました。こんな人たちが国のかじ取りをしているのかと思うと絶望的にすらなります。とかげの尻尾切りにならないよう、地検特捜部には徹底的に捜査して欲しいと思います。こんな世の中を変えるのも皆さんの一票です。暮らしに寄り添う政治への転換が必要です。私も頑張っています。

議会概要

12月定例議会 12月1日～12月19日までの会期日程が終了しました。

◆補正予算額：約541億円で、補正後の一般会計予算額は約1兆46億円となりました。

◆議案数は79件、請願8件、議決数合計87件。請願1件が不採択となり他は可決、承認されました。

区分	件数	説明
決算審査	20件	令和4年度の決算審査が終わりその結果が上程された
予算関係	13件	12月補正予算
条例関係	6件	条例の一部改正など
財産関係	4件	財産の取得
工事関係	8件	工事請負契約の締結・工事請負契約の変更
その他	25件	専決処分の報告及び承認・指定管理者の指定など
人事案件	1件	収用委員会委員の任命同意
議員提出議案	1件	国土強靱化対策の着実な推進を求める意見書
委員会提出議案	1件	診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬・保育等の公定価格において社会情勢に応じた適切な対応を求める意見書
請願	8件	上段意見書関連の請願7件と私学助成の拡充を求めるもの1件

決算
審査

令和4年度決算審査について（資料が必要な方は事務所まで連絡下さい）

■9月定例議会で令和4年度の決算が上程されました。直ちに、12名の委員で構成される決算特別委員会が設置され、審査が行われました。12月定例議会最終日にその結果が報告されました。

その報告から一部を抜粋して報告します。

歳入予算規模（一般会計＋特別会計）	1兆5,439億1,200万円
収入済額	1兆3,684億3,900万円
支出済額	1兆3,139億9,100万円
歳入歳出差引額	544億4,800万円
翌年度に繰り越すべき財源	204億2,300万円
実質収支額	340億2,400万円

■公営企業会計

流域下水道事業会計	1億8,300万円の純利益		
病院事業会計	4億9,900万円の純利益		
電気事業会計	2億8,300万円の純損失	累計欠損金	2億9,600万円
工業用水道事業会計	1億5,300万円の純損失	累計欠損金	53億2,400万円
有料駐車場事業会計	7,200万円の純利益		

★県債残高、経常収支比率、実質公債費率及び将来負担比率が23年度よりも増加。
令和3年10月に公表した中期的な財政収支の試算では、令和4年度から8年度までに累計で186億円の財源不足が生じると見込まれている。今後も厳しい財政運営を強いられることが予測される。

■委員会で出された、改善・検討を要する事項

全 体	●公平性の観点からの未収金対策。 ●職員の確保と適正配置、職員定数管理の見直し。
総務部	●熊本地震復興基金（期限10年）の有効活用。
企画振興部	●地域づくりチャレンジ事業、移住定住促進事業の推進。
環境生活部	●地方消費者行政推進事業について財源確保を国に要望。
商工労働部	●火の国ハイツの法人解散に伴う残余財産の処分や今後の活用策について、他の課題対策も含めてスピード感を持って取り組むこと。
観光戦略部	●県内の観光振興により積極的な姿勢を持って取り組むこと。
農林水産部	●新規就農者への補助金に係る返還金の未収金に連帯保証金制度を導入することについては慎重に検討すること。
土木部	●流域下水道事業について老朽化対策を含めた施設整備の検討。
企業局	●工業用水道事業の赤字についての経営改善と体制整備。
病院局	●第4次中期経営計画について勤務環境改善とコロナ禍の経験を生かす。
教育委員会	●いじめ事案についての対応。
警察本部	●警察職員の酒気帯び運転などの組織として再発防止の徹底。

定例
議会

■12月定例議会関連について

第36号 専決処分の報告及び承認について・・・**反対しました**

内容は、大阪地方裁判所が下した「原告全員を水俣病と認定し賠償を命じる」との判決を不服として、県が控訴したことです。長い間、理不尽に対象外におかれ、高齢化していく皆さんの訴えを県は受け止めるべきです。蒲島知事の「水俣病は私の政治の原点である」という言葉は何なのかという不信感しかありません。

請願14号 教育費負担の公私間格差・自治体間格差をなくし、子どもたちに
行き届いた教育を求める請願・・・**賛成しましたが不採択となりました**

2022年度 熊本県内の私立高校生の割合は全日制の高校生全体の37.8%に上っています。しかし、学校のICT環境整備や施設耐震化が公立に比べ進んでいませんし、教員不足も深刻です。また、多くの自治体で国による支援制度が拡充されたことにより、県単独予算で「学費補助の拡充」や「入学補助の創設」などに取り組んでいます。熊本県では県独自の支援制度がありません。経済的な理由が子どもたちの進路選択の障害となってしまうと思います。引き続き、拡充に向けて取り組んでいきます。また、この請願は当事者である高校生が街頭署名などを行い、10,462筆の署名を提出しています。子どもたち自身が主権者であるという行動だと思います。



県議会への要望活動も行われました。

■JR肥薩線の復旧について

2020年7月の九州豪雨で被害を受け、肥薩線は八代―吉松間の約84キロが不通となっています。県は復旧費235億円のうち、県が地方負担分12億7000万円を全額負担し市町村の負担をゼロとしました。国が197億円、JR九州が25億3,000万円の負担となります。

また、維持費は県と市町村分を7億4,000万円と試算し、このうち国、県で6億9,000万円を負担し、市町村の負担は5,000万円としています。

県と沿線自治体は肥薩線の復旧費は国と県で9割を負担し、「上下分離方式」でJR九州の負担の軽減と、さまざまな利活用策も盛り込み復興方針を示しました。今後はこの方針を受けたJR九州の判断を待つことになります。



課題は肥薩線再開後どのような活用をしていくのか住民参画で盛り上げていく必要があると思います。通勤や通学では利用客は減少するばかりです。観光列車の運行、沿線の風景やおもてなし、肥薩線でなければ味わえない旅の醍醐味などなど具体策を沿線全体で検討できるかがカギになると思います。

活動
報告

「幸村かよこ」の主な活動報告（2023年10月・11月）



10月3日	高校生平和大使八代市長表敬訪問	11月8日	地域活性化特別委員会管外視察
4日	八代市戦没者追悼式	10日	川辺川ダム関連申し入れ
12日	八代商工会会員大会	11日	球磨川橋梁着工式
14日	連合熊本県南議員団会議	12日	二見産業廃棄物処理場建設反対集会
18日	JP労組退職者の会総会	13日	観光議連鹿南九州大会（鹿児島）
19日	立憲熊本常任幹事会	14日	総務常任委員会視察
20日	水俣風力発電公聴会	15日	総務常任委員会視察
22日	東陽しょうが祭り・八代里親マルシェ	16日	総務常任委員会視察
27日	連合熊本定期大会	17日	大島コンビナート避難訓練
28日	八代市文化祭式典	18日	連合熊本県南地協定期総会
29日	八代みなとフェスティバル	19日	県政報告会（高田コミセン）
30日	檻の中のライオン講演会	20日	12月定例議会議案説明会（県庁）
31日	林業活性化議員連盟講演会	22日	私学助成に対する要望活動（県庁）
11月1日	定時制・通信制高校の県への要望活動	24日	熊退連要望活動（県庁）
3日	八代市女性消防隊全国操法大会優勝祝賀会	26日	県政報告会（ハーモニーホール）
4日	八代市経済開発同友会定期大会	27日	12月議会に向けて連合熊本との協議
5日	二見収穫祭・女性グループネット千丁20周年の集い	29日	連合熊本・労福協合同研究集会（熊本）
6日	地域活性化特別委員会管外視察	30日	八代地域保健医療推進会議
7日	地域活性化特別委員会管外視察	12月1日	12月定例議会開会（19日閉会）

雑感

TSMCの進出は、熊本に100年に一度のビッグチャンス到来と、県北を中心にその経済的効果に期待する声大きい。しかし一方で、これまでに経験したことのない問題が浮上しているのも事実である。経験をしていないものに対する不安は当たり前のことである。慎重が必要だ。

同じように、川辺川の穴あきダムがある。類をみない大型ダム。それだけでも恐怖である。本当に水害が防げるのか？自然環境は守れるのか？不安な声上がるのは当然である。市民団体が県に詳細なデーター示し「共同検証」を要望されても応えないのは何故か。アセスの住民説明会も怒号が飛び交う会場もあったと聞く。穴あきダムが本当に住民の生命、暮らし、財産を守るのであれば不安な声に堂々と向き合えば良いだけだ。できないのならダム計画は直ちに白紙撤回すべきである。



お知らせ

県政報告会を行います！

日時 2024年2月23日（金）祝日 15時～

会場 八代ホワイトパレス 八代市松江町290-1 電話35-0005

県政報告会のあと、後援会総会を開催します。
お時間のある方は引き続きご参加ください。

戸皆さまお誘いあわせてお気軽にご参加ください戸

★ご意見、ご要望など下記までお気軽にお寄せください。

熊本県議会議員

幸村かよこ事務所

〒866-0852 八代市大手町1-59-2 八代教育会館1F

☎0965-37-8258 FAX0965-37-8268 mail:yukimura.fanclub@gmail.com